



袋高通信

# あいのだより

'21 5月号

令和3年5月20日発行

通巻第180号

静岡県立袋井高等学校

## 「知行合一」とともに



校長  
後藤 佐登美

保護者の皆様、お子様の御入学、二年生、三年生への進級おめでとうございませう。特に新入生はコロナ禍の中の高校入試を経て、高校に入学しました。毎日の生活を本当に注意深く、家族ぐるみで乗り切ったことでしょうか。まだまだ感染症への対策は気を緩めることはできません。引き続き、注意深い行動をとりながら、感染予防に努めていく必要があります。

学校では現在、生徒会を中心に文化祭をどのように行うか、検討しています。昨年度は学校休業が明けてから、文化部の発表の機会だけは何とか確保しました。しかし今年度は、感染予防を徹底しながら、文化部の発表、三年生のクラス展の開催を考えております。これまでのように地域の皆様に来場いただくことは、まだできません。入場できる人数も

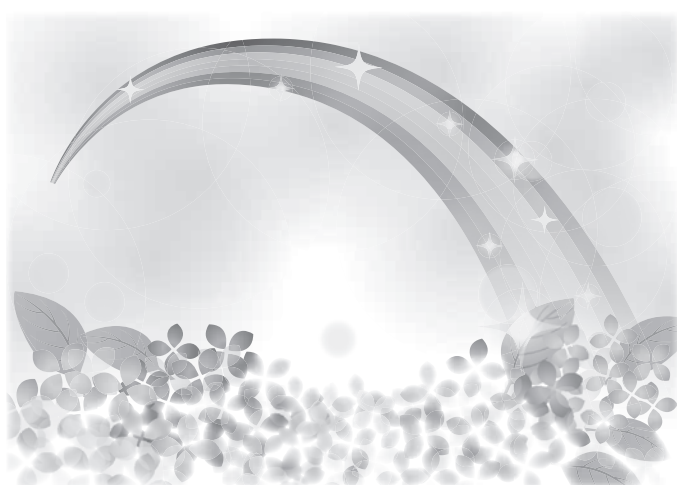
制限させていただきませんが、直接来場しなくても楽しんでもらえるよう生徒たちはさまざま考えています。

さて、表題の「知行合一」ですが、今年度の学校スローガンといたしました。中国の陽明学の始祖、王陽明の主張した命題です。「知は行の始なり、行は知の成るなり(知ることとは行為の始めであり、行為は知ることの完成である)」「行動を伴わない知識は未完成である」このような意味です。この「知行合一」の考えは日本でも江戸時代から広まり、幕末の志士、吉田松陰や高杉晋作なども強い影響を受けています。

現代は、デジタル機器も発達し、SNSには真実も虚偽も流れてきます。自分が知ったことをしっかりと確かめ、実行し、周囲に仲間をつくらせていく。そして未来を創造していく、そんな人生を歩んでほしいと思います。現在袋井高校でもICT教育、デジタル化の推進、署名の場合の押印無しなど改革を進めています。また、生徒指導、頭髮服装検査等についても教員と生徒代表と話し合う場を設け、生徒主体の学校にしていくように

進めていきます。

「ものごとを知ったからには、正しいと思う方向に進んで実行する。」そのような袋井高校生が増えてくれることを願います。我々教職員一同、生徒の皆さんの成長を支え、充実した高校生活を送ることができるよう、最善を尽くしてまいります。保護者の皆様には今後とも本校の教育活動への御理解と御協力を賜りますよう、お願いいたします。



## 教務課より

## 教務課

## 今年度の袋井高校

令和三年度は、一年生二四七名（男子一三二名、女子一一五名）、二年生二八三名（男子一四二名、女子一四一名）、三年生二九八名（男子一四七名、女子一五一名）、合計八二八名（男子四二一名、女子四〇七名）でスタートしました。また、昨年度に続き今年度も一年が七クラスとなり、クラス数は一、二年七クラス、三年八クラスの計二二クラスとなりました。このうち、二年は文型五クラス、理型二クラスに分かれたため、今年度は文型のみに進クラスを一クラス設置しました。三年は文型五クラス、理型三クラスとなり、例年通り文理ともに特進クラスを一クラスずつ設置しました。

## 新年度を迎えて

一年生は、生活環境が大きく変わり、毎日が緊張の連続だったことでしょつ。通学方法や時間、授業内容などすべてが中学校と違います。このあいのだよりが届くころには、新しい生活にも慣れ、少し周りを見渡せる余裕ができていくといいですね。

二年生は、主に進路希望によって文型、理型にクラスが分かれしました。新しいクラスの友人や先生方とうまくコミュニケーションがとれて

いるでしょうか。この一年は、部活動や学校行事で学校の中心となって活動することが増えてきます。学習と部活動の両立を目指し、バランスのとれた取り組み方を構築していきましょう。

三年生は、自らの進路目標を明確にする時期です。その目標を達成するため、今何をやらなければならぬかを自分で考え、それを着実に実行していくことを期待します。

## まずは時間の管理から

三年間の高校生活では、各学年とも「やらなければいけないこと」がたくさんあります。しかし、使える時間には限りがあるので、それぞれが自分の時間をどのように使うかが大切になります。まずは自分が一日の時間をどのように使っているかを確認してみましょう。今やらなければいけないこと以外のこと（例えばスマホ）に多くの時間を費やしてはいませんか。やるべきことが後回しになり、あとで自分が苦労することになりかねません。自らの行動を律し、自分の時間を管理して、後悔のない充実した高校生活を送ってください。

（教務課長 河合良訓）



## 進路課より

## 進路課

## 二〇二一年度入試結果

受験人口が本格的な減少期に入り、国公立大学、私立大学ともに志願者数が大幅に減少。国公立大学では、前期日程の志願倍率が初めて三倍を切りました。私立大学の志願者は一四年ぶりに減少した前年に続き約一割の大幅減となり、競争緩和が一層顕著になった入試でした。本校では、文型特進と理型特進あわせて四十三人（文系二一人、理系二一人）が国公立大学の合格を勝ち取りました。県内の大学では静岡大学に一〇人、静岡県立大学に三人、静岡文化芸術大学に五人合格でした。当初、共通テストはセンター試験と比べて難化すると予想されていましたが、全国平均点は文系で五五五点（前年差十八点）、理系五七一点（+一九点、ただし高得点は取りにくく成績上位者は増加せず）でした。本校でも健闘した生徒が多く見られました（六五〇点以上七名）。全国の出願状況を冷静に分析し、最後までチャレンジする姿勢を貫き、合格を勝ち取る生徒もいました（中・後期出願増）。特進クラス以外からも国公立大学に一四名が合格しました。

互いに切磋琢磨し、励ましあう環境がこの結果につながったのだと思います。今春の入試をまとめると、①

センター試験から共通テストへ（総合型平均点上昇）、大学個別試験の変化（変わる大学と変わらない大学）②コロナ禍の入試（都市部敬遠による地元志向）、資格系統人気③受験人口減に伴う大学志願者数減少（国公立大は過去最少、私立大もエリア・難易度問わず減少）です。今年度も入試情報を適切に取捨選択し柔軟に対応していきます。

## 三年集中学習

三年生の集中学習は八月四日から八日の日程で本校実施します。例年、生徒アンケートに「他の人の学習法や集中法が聞けてよかった」「よい刺激を受けてその後の学習時間が増えた」とあり、当初の目的に合う学習ができていくことが分かります。今年も特進クラスは原則全員参加とし、他のクラスも併せて二〇名程度で実施します。「一日一〇時間」、受験勉強の体制作りには最適な機会ですので三年生の積極的な参加を期待します。

## 平日放課後・土曜補講

今年の三年生の土曜補講は五月八日から始まります。五月三十一日から理社の平日放課後補講もスタートします。部活動引退後の学習習慣作りの一助として、参加を募集していきます。募集期間については、「一学期」「夏休み」「二学期」に分けて受講希望を取る予定で、学習の進捗状況に応じた受講が可能です。二年生の土曜補講は五月二十二日から、一

年生は五月二十九日からです。また、一・二年生の夏季補講は前期のみ五日間です。後日、案内と申込書を配布しますので積極的に参加して下さい。

### 進路室の自習机

進路室では自習机を二十四台設置しています。平日一八時三〇分まで自習できます。学習場所を複数持つことで集中力を維持することができま。学習する雰囲気は満ちた空間を今年も大いに活用してください。なお、赤本などの入試資料を借りる場合は、貸出ノートに必要事項を記入して二日以内に返却してください。

(進路課長 原田卓彦)

## 新学期を迎えて

生徒課

新学期が始まって1か月が経過しました。昨年は新型コロナウイルスの影響で、私たちを取り巻く環境は誰もが見えなかったことになりました。しかし今もまだ新型コロナウイルスの影響で落ち着いた気持ちで学習・運動に取り組めていないのが現状です。だからといってやらないことが何もできないと悲観するのではなく、こういう困難な時ほど自分を高められるように、何もできないでなく、いま何ができるかを考えて、行

動に移してほしいと願っています。

- ・ 一年生は早く高校生活に慣れ、生活のリズムをつかんでください。
  - ・ 二年生は中堅学年としての自覚を持ち、後輩の指導と自己の生活を充実したものにしたいと思えます。
  - ・ 三年生は高い進路意識を持つとともに、各部とも最後の大会・発表会に向け、悔いの残らないよう頑張ってください。
- 今年度も生徒課は以下の目標を基本として指導していきます。

1 部活動、特別活動でのぎめ細やかな支援により、生徒の主体性、自立心の涵養を目指す。

本校の教育の柱は文武両道です。一年生の部活登録も調整段階に入っており、実際に先輩たちとともに活動をしている者も見られ、各部の活動も活気を帯びています。運動部にとつてはどの部も総体予選が制限された中での開催となります、不安な気持ちを持つているのも事実ですが、三年生にとつては最後の大会というところで、今までの練習の成果を発揮して上位を目指して精一杯頑張るとともに、下級生へのバトンタッチをしっかりと行い、良い伝統も引き継いでもらいたいと思います。部活動を通して体や心を鍛えると同時に学業との両立を目指して頑張ってもらいたいと思います。

そして、本校文化祭「緑風祭」で

すが、生徒会が一年かけて計画している重要な行事です。また文化部にとつてもこの緑風祭が集大成の場となっております。今年も例年通りの形で開催することはできませんが、生徒の3年間の活動が十分に発表され、生徒全員の思い出に残るよう努めてまいります。

2 きれいな教室・廊下、美しい身なり、気持ちの良い挨拶・言葉遣い、大きな声での校歌斉唱を目指す。

特に明るい挨拶や場に合った言葉遣い、マナーの向上に努めさせてください。遅刻に気を付け、8時20分には教室に入るよう心がけてください。三年生は進路実現のため、早めに登校して教室で勉強する習慣をつけてほしいと思います。また、食事と睡眠に留意し、規則正しい生活を心がけてください。年度当初は自転車事故が多発します。特に一年生は中学時代と異なり、通学の距離が長くなり、保護者の皆様にとつては心配のことと思います。音楽を聴きながらの運転や携帯電話を使用しながらの運転は非常に危険で、自転車加害者になる場合もあります。また、並進や一時停止義務違反も非常に危険です。命を守る観点からもマナーを守り、交通法規を守るよう御家庭におかれましては御指導をお願いします。

(生徒課長 榎原英裕)

## 総務課

総務課

新会員の皆様には、4月7日入学式後の地区会において、袋井南地区から監事1名、評議員16名(周南、福田、周智・北遠の3地区は理事兼任)を選出いただきました。役員・評議員の方々をはじめ会員の皆様には、本校の教育活動の推進、教育環境の整備のため力をお貸しくくださいますようお願いいたします。なお、本年度もPTA・後援会総会は中止(委任状の提出)といたします。詳細については、後日御案内いたします。

《PTA関係行事予定》

・ 6月18日(金) 午後

授業参観・部活動保護者会

PTA地区会(1、2年生対象)

・ 9月10日(金) 午後

一学年の学年PTA

・ 9月17日(金) 午後

二学年の学年PTA

《PTA評議員の委員会活動》

・ 生徒、保健委員会

交通安全街頭指導、祭典補導等

・ 広報、研修委員会

緑風祭バザー運営、写真撮影等

・ 進路委員会

模試監督への協力等

総務課では、防災、奨学金(在校生・進学後)についても担当しております。今年度もよろしくお願

ます。

(総務課長 久野正勝)

## 研修課の活動

### 研修課

研修課は教員の資質向上を目的とした様々な研修を統括している分掌です。県総合教育センター(掛川あすなろ)が主体となつて教員を対象とした研修プログラムを企画立案し、それを各高等学校研修課が受け教員に参加を促すという流れになっています。研修内容は多岐に渡り、長期休暇などを利用し教育に関しても包括的な研修が行われています。教員の資質向上は、お子様方の御成長にそのまま還元されるものであるとの考えのもと、積極的な参加を勧めています。

また国際交流の一環としてオーストラリアの姉妹校、トマス・ハッサール・アングリカン・カレッジと学校訪問を、研修課の主催のもと相互に行つて参りましたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から令和3年度も中止とさせていただきます。参加を希望されていた御家庭には大変残念なことです。御了解ください。

加えてICT教育推進の基盤として本校では全生徒にGoogle Classroomへのログインをお願いし

ています。保護者のアンケートでも利用しますのでお子様と同じアカウントで一度ログインをお試しください。

(研修課 久野正幸)

## 環境を力に心身の健康を!

### 保健厚生課

本校に転勤して来た6年前、教室の外に響く鶯の鳴き声や、近くの茶工場から時折香るお茶の香りに気持ちの良さを覚えしました。5月には高の字山のつじとその下のなんじやもんじやの木。晩秋には生徒と校庭の風景を英語の俳句に詠みました。

この自然に恵まれた環境で文武両道に励むためには、心身の健康を維持したいものです。そのために、まずは朝食をしっかり摂らせて送り出してください。学校に来れば、日々、何かしら起こり、生活の実感が得られます。体力は気力で、免疫力も食生活からです。やがて巣立つ十八の春までお弁当作りをよろしくお願いたします。

学校生活においては、朝のSHRで「健康観察」を実施し、生徒の体調を確認しています。また、教室の換気や消毒をこまめに行い、密にならないよう注意を促しています。ご家庭においても「見守り」をお願いします。

保健厚生課では、本年度も「心の

健康観察」を実施し、生徒の心の状態の早期把握に努めます。また、スクールカウンセラーによるカウンセリングも月2回程度設定します。カウンセリングを希望する場合は養護教諭、または教育相談担当までご連絡ください。

(保健厚生課長 三浦かおり)

## 心を耕し種をまく

### 図書課

高校時代の恩師は暗唱をさせる方だった。百人一首はもちろん茂吉の『死にたまふ母』や啄木の『一握の砂』。賢治の『永訣の朝』や白楽天の『長恨歌』、『枕草子』や『方丈記』『更級日記』の冒頭など。今思えばよく

もまあ覚えたものだと思う。当時先生は、「高校時代は心を耕し種をまく時期だ。」と問答無用で暗唱テストを行つて下さった。

その恩恵を感じたのは、大人になってからだ。人生の節目節目にふと心の中にかぶ「ことば」がある。高校時代に覚えた「ことばたち」は私の人生や心を時に救い、時に豊かに彩つてくれたのである。役に立つ学問ばかりが称美される昨今であるが、学問は本来、即効性のある目に見えて役に立つものばかりではないのだから。

先日『よみほつと』(読売新聞日曜版四月四日)に「江戸時代の会

読」の記事が掲載されていた。江戸の儒学は暗唱する「素読」と先生による「講釈」が主であったが伊藤仁斎や荻生徂徠といった江戸中期の儒者によって「会読」(身分や門閥を超えた対等な立場による討論)が行われるようになったという。『縁を離れて』論じることで「ケンカせず、利害も効用も離れ、虚心になつて異論に耳を傾ける精神が育まれ」(前田勉『江戸の読書会』平凡社)それが明治維新や自由民権運動の原動力・エネルギーになったのだという。現代の高校生に求められている姿がここにあるように感じる。

高校時代に「心を耕し種をまき」その萌芽を「意見をたたかわせ、切磋琢磨すること」で大切に育てていきたい。図書館もそのお手伝いができるように、図書を準備し、環境を整えていきたいと考えている。

(図書課長 戸塚 恵)

## 袋井高校生の活動をお伝えします

### 広報課

広報課では、学校ホームページの運営、中学生向けのリーフレットや『学校案内』の作成、夏に行われる中学生の高等学校一日体験入学や秋に実施される公開授業の企画・運営、学校新聞の発行などを行っています。

昨年度は新型コロナウイルス感染



症により学校行事が中止や縮小を余儀なくされました。生徒には可哀想な一年となってしまいました。広報課としても生徒の活躍を思うように発信できず、歯痒い思いをいたしました。今年度も制約はあると思いますが、工夫しながら生徒の活躍を伝えたいと思います。

例年行っている『中学生の高等学校一日体験入学』は、昨年は夏は中止となり、秋に『公開授業』を代替行事として中学生とその保護者を対象に実施しました。その結果、中学生は五四一人、中学生の保護者は二六〇人が来校してくれました。そのため、在校生の保護者には参観をご遠慮していただきましたが、今年度、コロナ禍の状況が改善され来校が可能な状況になりましたら、生徒の活動を見に来て頂きたいと思っております。

今後とも生徒たちが、学業、学校行事、部活動に取り組んでいる様子をお伝えしていきます。個人情報に配慮しておりますので、御協力をお願いいたします。

(広報課長 石川泰三)

**1 年部**

主任	副主任	11HR	12HR	13HR	14HR	15HR	16HR	17HR	学年付
大石真 (国語)	齋藤 (保健体育)	齋藤 (保健体育)	山本 (地歴・公民)	村松 (国語)	竹中 (数学)	植田 (数学)	鈴木宏 (地歴・公民)	三田 (国語)	原川 (理科)
		金沢 (英語)	久野正幸 (英語)	榊原 (保健体育)	久野正勝 (理科)	大石真 (国語)	河合 (数学)	藤井 (英語)	上村 (養護教諭)

(上段は正担任、下段は副担任)

●本年度の取り組み

1. 「文理選択が主体的に行えた」と答える生徒が 90% 以上。
2. 家庭学習時間の平均が、平日 120 分以上、休日 150 分以上。
3. 「公共心を持ち、常識をわきまえた生活ができた」と答える生徒が 90% 以上。

●学年主任より

御入学おめでとうございます。

次々に高校生活にも慣れ、学習に部活動に精を出す 1 年生諸君の姿が見られます。新型コロナウイルス感染症拡大により、何事も制約の多い日々ではありますが、生徒の皆さんはそれぞれに自分のできる限りの努力をしているように見受けられます。高校 3 年間で充実した学校生活になるよう、学年部一同、精一杯努めて参りますので、御理解御協力のほどよろしくお願いいたします。

**2 年部**

主任	副主任	21HR	22HR	23HR	24HR	25HR	26HR	27HR	学年付
杉浦 (保健体育)	長谷川 (理科)	増田 (国語)	小林 (地歴・公民)	速水 (数学)	土屋 (英語)	伊達 (地歴・公民)	徳野 (数学)	長谷川 (理科)	山崎 (保健体育)
		吉田 (理科)	石川 (地歴・公民)	堀尾 (国語)	杉浦 (保健体育)	山内 (英語)	古田 (保健体育)	三浦 (英語)	丸山 (理科)

(上段は正担任、下段は副担任)

●本年度の取り組み

1. 規律正しい高校生活を実践し、主体的に自己実現のために行動できる。
2. 探究心を持ち、自らのビジョン持って学習習慣を確立できる。
3. 自己の役割を理解し、学校組織活性化や社会貢献ができる。

●学年主任より

教室棟を歩くと、お子様たちが新学期のスタートに胸を膨らませる姿と緊張感、新たに挑戦する姿勢や新しい関係を築き上げていくのがよくわかります。人生は一期一会。出会いを大切に、柔軟性を持って様々なことを吸収して、新たに挑戦する 1 年としてほしいと思います。

今年度も学年部一同、精一杯努めて参りますので、御理解と御協力をお願いいたします。

**3 年 部**

主任	副主任	31HR	32HR	33HR	34HR	35HR	36HR	37HR	38HR
栗田 (地歴・公民)	伊藤 (英語)	荒浪 (保健体育)	藤澤 (英語)	鈴木綾 (家庭)	鮫島 (国語)	伊藤 (英語)	鈴木教 (数学)	加藤 (地歴・公民)	西尾 (国語)
		中村 (英語)	田村 (情報)	栗田 (地歴・公民)	田原 (数学)	戸塚 (国語)	原田 (理科)	大石光 (理科)	西藤 (数学)

学年付き 間淵 (保健体育)

(上段は正担任、下段は副担任)

●本年度の取り組み

1. 袋井高校生としての自覚を高め、規律正しい生活を基本として、公共心に基づいた行動をする。
2. 長期・短期の学習目標を立て、自発的計画的に学習し、学力と受験に向かう力を高める。  
特に部活引退後の家庭学習時間の充実、目標に向かって学習の質の向上、さまざまな機会の提供
3. 高い志を持ち、日々を充実させることで、個々の進路志望の実現を目指す。  
HR活動、面談、進路行事などを通じて進路に関する情報を提供しながらの啓発

●学年主任より

高校生活最後の1年がはじまりました。来年3月には、全員が、胸を張って卒業してもらいたいと願っています。「自分はよく頑張った。」「やるだけやった。悔いはない。」「よかった。」と、思えるような1年を過ごすことができれば、胸を張れるでしょう。卒業式の校歌に、得られた充実感をのせて歌えたらいいですね。私たち教職員は、喜んでお手伝いするつもりです。高3の年、頑張りましょう。

**教 職 員 の 異 動**

転入										転出										退職								
教諭	教諭	非常勤講師	教諭	教諭	教諭	教諭	教諭	教諭	副校長	教諭	教諭	非常勤講師	教諭	教諭	非常勤講師	教諭	教諭	教諭	副校長	非常勤講師	非常勤講師							
情報	英語	保健	保健	保健	理科	理科	数学	地公	地公	情報	英語	英語	保健	保健	理科	理科	数学	数学	地公	地公	国語	国語						
田村	藤井	佐久間	間淵	山崎	古川	原田	大石	田原	山本	鈴木	岡	塚田	樽松	堀内	蔵原	山田	三浦	大竹	横地	関	坂口	落合	山下	桝村	牧田	佐野	永濱	大川
凱人	元喜	桃香	明憲	訓史	悠樹	恵次	光久	由久	崇博	宏野	克彦	隼人	薫人	信純	直文	みつよ	智久	啓亨	哲史	哲史	克弥	通信	厚二	真光	光彦	由美子	義一	

**保護者の皆様へお願い 確実な欠席連絡をお願いします**

欠席等の連絡は始業前 **7:30~8:15の間** に保護者の方にして頂くことになっています。  
 頂いた電話は、職員室で教員が受け、PCに欠席等の事項を入力していきますが、電話が集中し、対応に追われて入力が間に合わないことがあります。「連絡をしたのに担任に伝わっていない」「確認の電話をもらった」などの御指摘を頂くことがあります。このような事柄がありますので、御理解頂くとともに、確実な連絡をお願いします。

- ① **保護者**の方が御連絡ください。  
担任が確認や連絡のための電話を入れる場合もあります。やむを得ない場合を除き、生徒本人ではなく保護者の方からの連絡をお願いします。
- ② **声ははっきりと、少し大きめで**お願いします。  
回線や機器の状況によって、聞き取りにくい場合があります。
- ③ お子様の **学年・クラス・出席番号・氏名**を確実にお伝えください。  
例：「〇年〇組〇番の〇〇 〇〇〇〇です。△△の理由で欠席(遅刻)します。」
- ④ 風邪(発熱)の場合は「**何度何分の熱**」かをお知らせください。  
現在学校ではどれ位の発熱によるものかまで把握するようになっています。
- ⑤ 「祖父母死去の為の忌引き」の場合は **父方・母方どちらの祖父母**かをお知らせください。
- ⑥ 連絡なく朝のSHRに不在だった生徒には、**担任が確認の電話**をします。  
生徒が安全に登校したかどうかの確認を必ずします。御了承ください。

生徒の状況をスムーズに確認できますよう、保護者の皆様の確実な御連絡と御協力をお願いします。